

生徒指導だより 第4号

令和5年5月8日

5月の生活目標

みんなが安心して過ごせる学校環境にしよう



- ①ルールを守ろう
- ②教室環境を整えよう
- ③言葉遣いを意識しよう



4月の生徒指導集会でみなさんに伝えましたが、松中全員が安全で安心できる環境を作ること
で全員が積極的に学ぶことができ、どんどん成長していきます。5月に入って新しい環境にも慣
れ、安心感が日に日に高まっている人もいれば、少し疲れが出てきた人もいるかもしれません。感
じ方は人それぞれです。今のこの時期だからこそ、さらに丁寧に3つのことを全校生徒に取り組
んでほしいなと思います。3つ全部に取り組むのが難しい人は、3つの中から1つを選んで取り組
むのもいいですね。クラスや学年で特に重点を置くものを決めてもいいですね。

① ルールを守ろう

4月はルールの説明や確認が多かったと思います。学校生活のきまり、自転車通学のきまり、授
業のきまりなどたくさんのきまりやルールがありました。特に1年生はたくさんありすぎて、全
部覚えて、行動するのは大変なことです。わからないことや、困ったことがあったら、友達や先生
に相談しましょう。人間は慣れてくると、「これくらいいやる」とか「バレなければ、大丈夫やろ」
と言った気持ちが出てくるものです。これくらいとはどのくらいならよいのでしょうか。“これくら
い”という気持ちは、頑張りすぎている時には、自分をケアするための大事
な気持ちですが、ズルをしたい時には、少し危険な気持ちです。気づいたら、
ルールを破ることが平気になり、他人や自分を傷つけることにもなりかね
ません。「これくらい大丈夫やろ」という心に出てきたときには、「本当にい
いのか？」と自問自答してください。



セルフチェックしてみよう!

自分で自分をチェックできる
ことは大事なことやね!

<input type="checkbox"/> 徒歩通学の生徒は、横断歩道を渡っている。自転車通学の生徒は、ヘルメットをしっかりと装着している。	<input type="checkbox"/> 8:15には静かに読書を始めることができる。	<input type="checkbox"/> 不要物(お菓子、ゲーム、漫画、スマホ等)を持ってきていない。
<input type="checkbox"/> 制服に名札をつけている。	<input type="checkbox"/> 子どもだけで行ってはいけない場所に行っていない。	<input type="checkbox"/> SNS等で他人を誹謗中傷していない。

② 教室環境を整えよう



松任中学校では全校生徒で教室を整える取り組みをしています。昔から人々は、「環境が整うと心が整う」と言い、身の回りをきちんと片付けることを大事にしてきました。新しいノートに書く一文字目を丁寧に書いた経験はありませんか。お店のきれいなトイレに入った時に、汚さないように丁寧に使用した経験はありませんか。ゴミ一つ落ちていない場所に行った時、自分もゴミを落とさないように気をつけた経験はありませんか。それは、あなたの心が、整っている環境の中で何かを感じ、プラスの行動を引き起こしているからです。松任中学校にプラスの行動が広がると、安心して学ぶことができる環境になっていきますね。ぜひ自ら進んで、教室環境を整えてください。移動教室の時に、声をかけあっているクラスもあります。自分たちで心掛けて環境も心も整えて過ごしましょう。

<input type="checkbox"/> 後ろのロッカーは整理整頓されている。	<input type="checkbox"/> ロッカーのカバンはしっかりとみ出さずに入っている。	<input type="checkbox"/> 後ろのロッカーに自分の物は置いていない。
<input type="checkbox"/> 移動教室の時は机の上には何も置いていない。	<input type="checkbox"/> 自分の掃除場所を時間いっぱい掃除している。	<input type="checkbox"/> 帰る際は机の中は、朝読書の本にしている。

*自分のことだけではなく、周りの環境にも気を配れたら「気配り名人」ですね！

③ 言葉遣いに気をつけよう

先日、ある場所で、高校生位の4人組が話をしていました。その会話が耳に聞こえてきたのですが、きつい口調で誰かのことを話していて、途中「それ、うざっ」「うわー、きもっ」という言葉が出てきました。私とは関係のない方の会話でしたが、非常に悲しい、嫌な気持ちになりました。

一方で、あるクラスで授業をしている時に、「どうやったらできるん?」「おかげでよくわかったわ」「ありがとう」という声が聞こえてきました。とても温かい気持ちになりました。また配布物を渡した時、「ありがとうございます」と目を見て伝えてくれる人も増えており、すごく嬉しい気持ちになります。

言葉は人の心を傷つけるナイフにもなりますが、人の心を温める毛布にもなります。自分では傷つけるつもりがなくても、相手を傷つけることがあります。その逆もあります。たった一言が、誰かを励まし、勇気づけます。たった一言が、誰かを笑顔にします。たった一言が、誰かの「今日もいい日だったな」という気持ちにしてくれます。自分の発する言葉を大切にしていきましょう。

